

Campus France 短期語学留学プログラム参加報告書 (広島大学)

氏名			
所属学部・研究科	文	学部/研究科	2 年次
学 生 番 号			
留 学 先 語 学 学 校	グルノーブル大学附属フランス語教育センター		
プ ロ グ ラ ム 期 間	2023年 2月20 日 ~2023 年 3月 17日		
1. 渡航について			
出 国 年 月 日	2023年 2月 16 日		
経 路	福岡空港発 香港経由 シャルルドゴール空港着		
現 地 で の 出 迎 え	<input type="checkbox"/> 有 (大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無		
帰 国 年 月 日	2023年 3月 22日		
経 路	シャルルドゴール空港発 香港経由 福岡空港着		
2. 所要経費について			
所 要 経 費	総額	円	
	内訳	料金	36万 円
		交通 費	27万 円
		食 費	6 円
		その他 費	7 円
	費	円	
3. 参加プログラムに関する感想 (広島大学用)			
<p>最初は、授業で勉強しただけの語学力で授業についていけるのか、ホストファミリーと円滑なコミュニケーションができるのか、1ヶ月問題なく滞在できるのか、等々色々なことが不安でした。しかし、日本にいるときから、CUEF の方もホストマザーもメールで丁寧に質問に答えてくださったし、フランスに着いてからも、不安なことはすぐに聞ける体制が整っていました。また、授業も自分のレベルに合わせてクラス分けがされるので、「自分だけ置いて行かれた」と思うことはなく、毎日たくさんのことを学べたと思います。先生方は曜日や週によって異なり、教え方はもちろんよく使うフレーズも違って、様々な表現を知れたし、何より授業に飽きることなく、ずっと苗のめりて授業を受けることができ、楽しかったです。また、アクティビティも充実していて、グルノーブルという街を、食、自然、文化、歴史など様々な視点から堪能できました。実際に説明を受けながら案内していただいたので、フランス語の勉強になるだけでなく、その土地への理解が深まりました。更に、manifestation や gr è ve が実際にどのように社会に影響を与えているのか、どんな意味を持っているのか、滞在中にそれらを体感できたことも良い経験になったと感じています。今回このプログラムに参加して、あれだけ心配していた1ヶ月があっという間に感じました。そして、フランスだけでなく他の国々にも行って、実際に見たり聞いたり味わったりしたいと思うようになりました。このプログラムを通して、私は、「どこに行っても大体何とかかなる」という自信と、実際に体験することの楽しさを知ることができました。本当に行って良かったと思える1ヶ月間でした。</p>			
<p>注) 1. 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、広島大学HPへの掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。</p>			

Campus France 短期語学留学プログラム参加報告書（広島大学）

氏名				
所属学部・研究科	総合科	学部/研究科	2年次	
学 生 番 号				
留学先語学学校	グルノーブル・アルプ大学附属フランス語教育センター			
プログラム期間	2023年 2月 20日 ~		2023年 3月 17日	
1. 渡航について				
出国年月日	2023年 2月 18日			
経 路	広島→成田→フランクフルト→リヨン・サン=テグジュペリ			
現地での出迎え	■有（大学関係者 ・その他：キャンパスフランス）		□無	
帰国年月日	2023年 3月 20日			
経 路	リヨン・サン=テグジュペリ→フランクフルト→羽田→広島			
2. 所要経費について				
所要 経 費	総額	73万	円	
	内訳	プログラム参加費	35万	円
		渡航費	30万	円
		生活+娯楽費	18万	円
		費		円
費		円		
3. 参加プログラムに関する感想（広島大学用）				
<p>キャンパスフランスでの1ヶ月はとても貴重で有意義な時間となりました。現地の授業は、最初の2週間はプログラムに参加した日本人のみのクラス、残りの2週間は現地で実際に学校に通っている多国籍の学生とのクラスでした。フランス語でフランス語を学ぶため、最初は先生の言っていることもなんとなくでしか分からず苦戦しました。けれどもクラスが少人数なため、分からないこともその場で聞くことができ、グループワークなどを通して楽しんでフランス語を学ぶことができました。また私はホストファミリーでの生活を選択したのですが、本当に親切に接してくださいました。毎日とても美味しいフランスの伝統的な食事を用意してくれ、食事が終わった後にはデザートを食べながら家族と会話したり、映画を観たりしました。毎日ホストファミリーと会話をして、言葉の間違いや発音を直してもらったこと、デモがなぜ起きているのかなどフランスと日本の違いについて話したことは自分にとって確実に力になったと思います。他にもマダム誕生日パーティーに参加したり、レストランに連れて行ってもらったり本当の家族のように接してもらったことがとても嬉しかったです。週末に一人でパリに旅行に行ったり、たくさんの美術館を巡ったことも思い出に残っています。4技能を満遍なく習得できるよう設定された授業と合わせて、実際に生活で使うフランス語を肌で学んだことで、帰る頃には確かなフランス語の上達を感じました。一方で、自分の思っていることを伝えきれない悔しさやもどかしさもありました。この悔しさを忘れず、バネにしてこれからもフランス語の学習に取り組みたいと思います。</p>				
注) 1. 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、広島大学HPへの掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。				